



速報

はぼろ

発行責任：組織対策部

発行日：2011.6.13

発行号：11第7号

東日本大震災自治労復興支援活動(人的支援)に逢坂信吾 組合員が参加

復興の道は遠く・・・

東日本大震災に対する自治労復興支援活動に逢坂 信吾 組合員が参加しました。

自治労は、自治体職員の組合という特徴を最大限に生かし、いち早く支援体制と整え4月から人的支援を行っています。この度の支援は岩手、宮城、福島に4月10日から6月5日までを10日間1グループとし合計8回派遣するもので、各グループには5人1組で55チーム(275名)が参加し全体で約2,200名の大規模な支援活動となっています。(※その後も人的支援は継続しています。)

逢坂組合員は5月13日から23日の第6グループに参加しました。北海道からは3チーム(15名)が参加し、逢坂組合員のチームは避難所となっている「岩手県宮古市第二中学校」の支援活動を行ってきました。

逢坂組合員からの報告では宮古第二中学校には当時73名の避難住民がおり、市職員とともに24時間体制で市職員の補助、救援物資の仕分け、食事の配膳、避難所内の換気、避難住民の対応等といった様々な任務を行ってきたとのことでした。

避難所住民は落ち着きを持って生活しているとのことでしたが、がれきの山の街並みや気丈に振る舞う住民の姿を見ると、復興の道はまだまだ遠く感じられ、今後も忘れることなく支援していかなければならないと思ったようです。逢坂組合員たいへんご苦労さまでした！

以下、北海道本部ホームページに掲載された逢坂組合員の活動報告です。

【支援活動報告】

消灯後の避難所は非常口の誘導灯と灯油ストーブの灯り

5月18日(水)第6グループ3班 逢坂信吾 (羽幌町職)

第3班(宮古第二中学校)の夜番の様子をお伝えします。

夜番(19時～翌8時30分)は避難所に到着後、19時からの班長会議に参加します。

班長会議は、宮古市職員1人、避難住民の各班長7人、3班の全員5人の計13人で行われ、市からの連絡事項や各班長からの提案、自治労からの連絡などを議題として会議を行います。

21時の消灯前に、本部横に設置しているインターネットコーナーに来て、「プリキュア見た〜い」と子どもたちがパソコンの前に座りました。

最初は理解できませんでしたが、よくよく話を聞くと動画サイトでお気に入りのアニメを見ているようです。

避難所内には、おもちゃや絵本、アニメのDVDなどありますが避難生活が長いためのか、最近の子どもだからなのかはわかりませんが、自分たちの時代とは随分遊び方が変わったなと思う一面でした。

身ベルトやプリキュアのカードが映ると、「これ持ってたけど、流された」と淋しい一面もありました。

消灯を前に本部内に仮眠スペースを設置します。22時の玄関施錠後に帰ってくる住民に対し開錠したりするため、ここで仮眠をとります。



【写真】
開錠のために仮眠スペースを設置

ちなみに消灯後の避難所は、非常口の誘導灯と灯油ストーブの火の灯り、そして2階ギャラリーの手すりに設置している投光機(1カ所)の灯りのみとなります。

避難所は体育館のため、ちょっとした物音でも気になります。



【写真】
とても暗い消灯後の避難所のような様子



【写真】
インターネットで「プリキュア」や「仮面ライダー」を楽しんでいます

動画サイトを私と道本部の鈴木さんも一緒に見ていましたが、楽しんでいる子どもたちの会話の中からは、仮面ライダーの変



第17回統一地方選挙の結果について

知事選挙は大敗し、全国的に民主党は厳しい結果となる

知事選挙：前回 '07(H19)-04-08

	有権者数	投票者数	投票率	荒井さとし (無所属)	高橋はるみ (無所属)	宮内さとし (共産党)
羽幌町	7,365	5,400	73.32%	1,930	3,301	123
留萌管内	50,020	35,355	70.68%	13,164	20,831	1,117
全道	—	—	—	981,994	1,738,569	184,969

道議選挙：前回 '99(H11)-04-11

	有権者数	投票者数	投票率	のろ照幸 (無所属)	くどう敏郎 (自民党)
羽幌町	7,870	6,535	83.04%	1,736	4,735
留萌管内	30,974	24,974	80.63%	9,815	14,684
全道	—	—	—	—	—

知事選挙：今回 '11(H23)-04-10

	有権者数	投票者数	投票率	木村としあき (無所属)	高橋はるみ (無所属)	宮内さとし (無所属)	かつや忠 (無所属)
羽幌町	6,921	5,544	80.10%	1,445	3,727	162	121
留萌管内	44,738	30,836	68.93%	6,958	21,725	1,129	695
全道	—	—	—	544,319	1,848,504	176,544	92,491

道議選挙：今回 '11(H23)-04-10

	有権者数	投票者数	投票率	花田しげみ (民主党)	くどう敏郎 (自民党)	いいだ佳宏 (無所属-進民会の会)
羽幌町	6,905	5,525	80.01%	2,445	2,099	906
留萌管内	24,207	19,124	79.00%	6,967	8,141	3,679
全道	—	—	—	—	—	—

町議選挙(定数12)：前回 '08(H19)-04-11

	有権者数	投票者数	投票率	こまい久晃	森あつし	はしもと修司	寺沢たかき	まきた光子	たかの輝雄	熊谷としゆき	大山しんたろう	むろた憲作	いその直	ふなもと秀雄	いとう昇	金木直文 (共産党)
羽幌町	7,291	6,231	85.46%	879	675	545	518	499	488	450	449	424	403	321	274	252

町議選挙(定数11)：今回 '11(H23)-04-24

	有権者数	投票者数	投票率	こまい久晃	森あつし	はしもと修司	寺沢たかき	平山みちこ	たかの輝雄	くまがい俊幸	こでら光一	むろた憲作	いその直	ふなもと秀雄	まつばら浩一	金木直文 (共産党)
羽幌町	6,881	5,726	83.21%	829	637	441	502	542	289	436	385	383	307	355	145	433

2011 人事院勧告に向けて 国家公務員俸給 10%削減が決定！

～ 私たち地方公務員への影響を断固阻止する取り組みを ～

●これまでの経過

5月13日に政府は公務員連絡会に対し、国家公務員の給与について2013年度(平成25年度)までの3年間「俸給・ボーナス支給額の10%削減する」との提案を行いました。

その後の5月23日の交渉で、今回の大震災への対応などによる厳しい国家財政状況に対応するための特別な措置であること、今回の国家公務員賃金引下げが決して地方公務員へ影響するものでないこと、これに基づく地方交付税の削減などは行わないことなどの回答を受け最終決着しました。

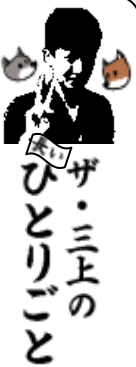
この結果、2013年末までの期間について、役職段階に応じて俸給を5～10%削減(係長8%、係員5%)、一時金を一律10%削減することが決定しました。

●これから

今回の決定が地方公務員へ影響しないとの回答は受けましたが、この間のマスコミによる偏った報道や、地方公務員給与が「生計費並びに国及び他の地方公共団体の職員・・・(省略)・・・の給与その他の事情を考慮して定めなければならない(地公法第24条第3項)」となっていることから、場合によっては厳しい状況も想定されます。

地方では既に、6割の自治体で賃金の独自削減がされているのみならず、過去14年間で14%以上の職員数削減が行われていることから、今回の削減に基づく地方交付税や地方公務員賃金への影響を断固阻止する取り組みが必要となっています。

平成23年6月2日の内閣不信案審議には、すっかりおなじみの顔ぶりで、野党も先生方はこの国をどうしようと思つて国政に出て行かれたのか？
3月11日から私のよき心のない者でも連日の報道に暗気持になりつつあるというのに、本場に一般心ある人たちが、芸能スポーツ財界の皆様がいろいろなアクションをしているのに恥取りが、3ヶ月もたつたという今、何やつてんでしようか？政権交代したからどうなりませうか？若し時分には、選挙の度に国に自分たちの生活を良くするために自分たちの候補を立選させなければいけません。選挙事務所での電話会や、組合活動は親睦レクリエーションと選挙という印象が強く残ります。社○党から○主○党、○とん○国民の生活が落ち込み、経営者からワーキングプアなんて言葉も発生して、社会の中で全然注目されなかつた私たちが一部の方々に敵視に近い見方をされるなんて想像もできなかった。
さて、早くから皆さんの周りでも震災ボランティアについて、町村会からの要請の情報が流れて、わが村にもありますが、自分たちが要請がかり、わが村を代表して建設信吾青年部長が5月14日から22日まで若手県官古市に復興支援員として隣りの苫前町の伊藤組員と留萌地本を代表する形で参加してきました。選出段階で代表ある私の名前も挙がりましたが、文句を言わないという条件で早々に落選。結果、これに出ても恥ずかしくない建設員が避難所支援のボランティアとして活動し無事帰郷してくれました。組合からのボランティアということで町職員としての参加とは若干条件面で違うものの当局的最大限の理解を得る条件でも改善され建設組員を送り出しました。建設の心身が心配でしたが、余裕なく通関課へ入った会計検査に振り回され、こんな国の一大事に文句を言わないから、帰るまでの下の片付けに追われる毎日、あつという間に派遣期間が過ぎ、建設組員は派遣前と変わらぬ様子で帰ってきて挨拶に来られました。ホッとしました。
未曾有の大震災です。現地へ行ったものは大きかったと思いますが、まだ時間がかかります。安着たいも行ってないけれど、もうちょっと落ち着いたら連絡もしたいけれど、酒飲みながらお話を聞きたいと思つています。皆さんも是非、慰労の言葉をかけていただきます。
さて、もう6月、私の任期も残りわずかですが、先任の後任が決まらなかつたので、先任がまだです。立候補していただく方がたいですが、推薦もよいので入れ知恵してください。直接言えない方は、金書に私のメールアドレスを書いて連絡。
2匹の犬話しかけるので、より委員長より



ガミヤマ 白
ザ・三上の
ひとりごと